



三珠中学校校長室だより
令和7年9月11日発行
No.21
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら↓



地震体験・煙体験

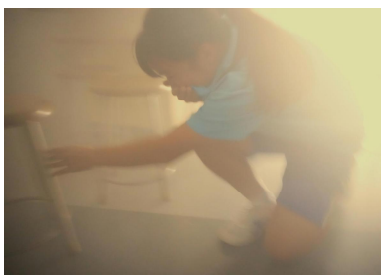


先週の木曜日の午後、山梨県立防災安全センターから2名の職員をお招きして、防災体験訓練を行いました。この日行ったのは、地震体験と煙体験の2つの体験です。2つの縦割りグループに分かれて交互に2つの体験を行いました。▼地震体験では、防災安全センターから、県内にただ1台しかない起震車が三珠中まで出張してくださり、すべての生徒と多くの職員が地震体験をすることができました。緊急地震速報から始まり、震度4から次第に揺れが強まり、最大震度7までの揺れを体験できる通常の体験は、全員が体験することができました。また、一部の生徒・職員は、いきなり震度7の強い揺れが襲ってくる直下型地震の疑似体験もすることができました。



▼今回の地震体験は、地震の揺れを疑似体験することで地震に対する意識を高め、万が一に備えることを目的に行いました。「これから揺れる」と心の準備がある中での揺れと、何の前ぶれもなく始まる実際の揺れとは感じ方はまったく違うかもしれませんが、地震に対する意識が少しでも高まってくれたら嬉しく思います。

▼煙体験では人体に無害な煙を理科室に充満させ、視野が確保できない中をできるだけ煙を吸い込まないように壁伝いに脱出する実践的な体験をしました。火災で命を落とす場合の多くは煙による中毒死だと言われています。この日の体験でもっとも大切だったのは、いかに煙を吸い込まず冷静に行動するかであったと思いますが、あの悪条件の中、どれだけの人がそれを意識して行動できたでしょうか？▼防災体験訓練終了後、各教室においてふりかえり(事後学習)シートの記入をしました。



学校の防災は教頭先生が担当しています。教頭先生は防災訓練を計画する際にはいつも『実際の災害時の役に立つ訓練』を意識して考えてくれています。今回の地震体験・煙体験もそんな思いから実現しました。また、今回みなさんが訓練後に取り組んだふりかえりシートの内容が学校全体みんな同じでなかったことに気付いたのでしょうか？こんなところにも、「やるのならやって意味のあるものを」そんな思いが伝わってきます。みなさんのふりかえりシートを読ませてもらって、みなさんが教頭先生の思いにしっかり応えてくれていることが分かりました。▼来なければそれにこしたことはない災害。しかし残念ながら世界各地で毎年、大きな災害が起きています。やはり私たちは、いざという時のために備えをしておく必要があります。これからも三珠中学校ではいざというときに役に立つ訓練や体験を工夫しながら企画していきたいと思います。



～生徒のみなさんのふりかえりシートより(抜粋)～

◇僕は地震が発生したら、机の下にかくれるより、家の外に出た方がよいのでは？と思っていました。しかし、今日の体験を通して、揺れが強すぎて、外に出ることなんてできないということが分かりました。

◇今日は、なかなかできない体験をさせていただきありがとうございました。私は体験だと安心した気持ちになってしまいましたが、実際にもしこのようなことが起きたらと思うと、とても怖いです。この体験で学んだことを周りの知らない人にも伝えることで、命を助けることができると思いました。また、旅先ではしっかりと通路を確認することが大切だと思いました。

◇今日は来てくださり、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。地震の時にはあぐらをかいて座ること、火事の際は手で口を押さえ鼻呼吸をするなど、学ぶことが多かったです。家族や大切な人などの命を守る時に、今日学んだことを伝えて、一人でも多くの人が助かればいいなと思いました。

◇自分の中で火事や地震のことを少しなめて考えていました。でも、体験してみて結構命の危険を感じ、どう行動すればよいかを考えなければいけないと思いました。人ごとだと感じていてはだめだと思いました。